

# 2019年度「全国中学生人権作文コンテスト」岐阜県大会 NHK岐阜放送局賞

## 相手を思う心

岐阜市立藍川中学校3年 白橋 和香

もし手の指がない人がいたら、私はその手を見てしまい、家に帰ったらすぐに家族にそのことを話すと思います。なんとなく「かわいそうだな」と、勝手に心の中で自分と比べ、自分とは違うなと感じてしまうと思います。このような思いを抱いているのは私だけではなく、多くの人が抱えている気持ちなのではないかと、ずっと思っていました。しかし、そうではありませんでした。

私には兄がいます。兄には高校からの友人がいます。兄がその友人と一緒に写っている写真を見た時、私は、「お兄ちゃん、隣にいる友達、左手の指ないの？」と思わず聞いてしまいました。兄は、「うん、そうだけど、何で？」と問い返してきました。私は、「何でって……」と言葉が詰まりました。すると、兄は初めてその友人のことを話し始めました。

「彼は、生まれつき、左手の指が欠損しているんだよ。最初は気づかなかったけど、制服を脱いで体操服になった時に気づいたんだ。」(あつ、ない。)って思ったけど、彼は自分が、障がいをもっているとは全く思っていなかったから、僕が「何か手伝おうかな」とか「不自由ないかな」って思うことは僕と彼の間に壁をつくること、つまり、彼にとって、健常者と障がい者との壁をつくることになるのかなと思ったんだよ。それに、彼は、「生まれた時から僕の左手は、この状態だから、この状態でできることを考えて生活してきたんだ。だから、障がいはあるけれど、みんなと何も変わらないよ。」と言っていたよ。と話してくれました。この話を聞いて、兄が自分と同じ仲間、そして、一人の人間として、その友人と接していることが伝わり、その姿はカッコいいなと思いました。

私は兄の話聞いて、健常者と障がい者との壁は私たち健常者が知らず知らずのうちにつくっているのではないかなと思いました。どんな人とも同じように接する兄を見て、今まで私は、障がいをもっている人のことを「障がい者」として見ていないと自分では思っていました。そうではなかったことに気がきました。自分と何か違うとその人の見方が変わってしまう自分がいました。障がいをもっている人のことを何も知らないのに「かわいそう」と思い、障がいをもっている人は自分と違っているという見方をしていたのです。その心こそが、人と人との壁をつくっているのだと思いました。

障がいをもっている人に対して、私は、「かわいそう」

といつのまにか思っていました。私は何に対して、かわいそうと思っていたのでしょうか。自分の心に聞いかけてもすぐには答えができませんでした。考えてみると、兄が「彼は、自分にできることを考え、工夫して、僕たちと同じようにやってたよ。」と話していたことを思い出しました。兄の友人も笑い、喜び、時には、悲しみ、そして毎日を一生懸命に生きているのです。私は自分と違う姿に、私とは同じことができないと決めつけ、「かわいそう」と思っていたのではないかな。相手の気持ちになって考えれば、「かわいそう」という見方は、障がいをもっている人にとって一番悲しいことなのではないかな。そのことに私は気づき、そんな心をもっていた私は恥ずかしいと思いました。

私は、この夏休みに特別支援学校との交流会へボランティアとして参加しました。今までは、障がいをもっている人とどう接すればいいのだろうと思っていました。ですが、兄の話聞いて、実際に障がいをもっている人と触れ合うことで、障がいをもっている人に対して抱いていた思いを変えられるのではないかなと思いました。「障がいをもっている人とどう接すればいいのだろう」答えはすぐに見つかりました。その人のことを「思う」心をもって接すればいいのです。自分が困っている時に手伝ってもらえることは嬉しいですが、何でもかんでも他の人に手伝ってもらおうと、自分でも少し頑張ってみようと思っていたことができず、少し悲しくなることがあります。それは、障がいをもっている人も同じだと思います。だから、無理に手伝おうと思うよりも、その人が頑張ってみようとしていることを私も一緒にやっている気持ちで接すればいいのではないかなと思いました。健常者、障がい者、関係なく、相手を思う言動をとればいいのではないのでしょうか。

交流会では、ボウリングなどのゲームを通して触れ合いました。最初はどんな言葉をかけようかと思っていました。しかし、一緒に遊んでいるうちに楽しくなり、そんな思いは自然になくなりました。楽しい思いは、私たち健常者と変わりませんでした。

障がい者は障がいをもっているけれど、「かわいそう」ではありません。どんな人ともその人の気持ちを考えて接すれば、私たち人間の間に壁はなくなるのだと実感しました。

「相手を思う」私は、この言葉を心に刻んで、どんな人とも接していきたいです。